



自分で日を選べるから通いやすい。一流技術が 学べる和裁レッスン「辻村和服専門学校」

創業 105 年を誇る和裁の専門学校。そんな由緒ある学校が静岡市にあることはご存知？「辻村和服専門学校」は着物を仕立てる職人を育成していて、生徒は「和裁技能士」などの国家資格の取得を目指しているのだそう。講師の方々の技術が高く、教材も種類豊富で、国家資格の合格率も高いことから、生徒の約半分は県外から来るほど人気が高い。 そんな一流の和裁の技術を、一般の人にも教えてもらえるレッスンがあるのだそう。 womo ライターの小長井が、一般向け講座を担当する高橋先生にインタビューしてきました！

教えてくれるのは・・・講師の高橋沙枝美（さえみ）さん



小長井「こちらはどんな講座ですか？」

高橋さん「一般の方向けの、和裁が習える講座です。自分で着物や帯を作ってみたい、または半襟をきれいに
つけたいなど、和裁に関することなら何でも習うことができます。初めての方は、浴衣から始めるのがおすす
めですよ。お母さんの着物をもらったからサイズを自分に合うように変えたいなど、お直しのために来る方も
多いですね。和裁のありとあらゆるリクエストにお応えいたします!」

小長井「先ほどレッスンを拝見いたしましたが、生徒さんが作るものは一人ひとり違うのですね」

高橋さん「作るものは自由です。今日は浴衣の方が2人、羽織の方が1人でしたね」

小長井「それを一度に全部見るのは大変ではないですか？生徒さんによってペースも違いますし。それをテキ
パキと指導されていて、すごいと思いました」

高橋さん「いえいえ。じつは着物って、ほとんどまっすぐ縫うことで縫えちゃうんですよ。『運針』という早く縫える方法がありまして、初めての方にはそこから教えています」



ぜひ身につけたい「運針」という縫い方。もの凄く早い！



初心者には運針も丁寧に指導してくれる

着物をもっと身近に、洋服のように自分らしく楽しんで

小長井「先生はどのような経緯でこちらの講師になったのですか？」

高橋さん「私、じつはこの専門学校の卒業生なんです。卒業後、呉服屋さんに就職し、リサイクル着物店を経て『きもの Cafe ちどり』を立ち上げました。和裁のレッスンや着付けなど、気軽に着物に親しめる場所がある
といいなと思ったんです。今は結婚・出産を経て、こちらの講師として働いています」

小長井「着物を作るだけでなく、どのように着るかなど、着物に関する幅広い知識をお持ちなんですね!」

高橋さん「着物って、『高い』とか『取っつきにくい』と思われるかもしれませんが、私は自分らしく楽しんで
もらえるのが一番だと思っているんです。

だからもらった着物でも自分に合わせて仕立て直したり、アレンジをして楽しんでほしい。少しくらいうまく
いかなくても、自分で作ったものは愛着を持てますよね。もちろんできるだけ完璧にできるよう指導していき
ますが、気軽に着物に親しんでほしいです」



レッスン日を自由に決められる「チケット制レッスン」

小長井「チケット制とはどのようなものですか？」

高橋さん「一般の方向けのレッスンは、毎週月曜・火曜・金曜、土曜（月 1 回不定期）の 10:00～12:30。生徒さんはその中で自由に予約をとり、レッスンを受けられます。毎週出席などの縛りはないし、1 回のみでも OK。中には一年振りになってしまう方もいらっしゃいます（笑）。自分のペースで進められるから、続けやすいと思います。沼津や富士宮、御前崎、掛川など遠方から通ってくださる方もいますよ」

小長井「それはとても通いやすいですね。仕事との両立もできそうです」

高橋さん「通ってくださっている方は、仕事や家庭が充実している人が多いですよ。もしくは子育てが一段落して、思いっきり好きなことやるぞ！という心意気の方。みなさん人生を楽しんでいて、キラキラと輝いているな～、と思います！」

小長井「たまの談笑があつたりと、先生を含めて教室の雰囲気がすごくいいですよ。同時に、先生の和裁の技も素晴らしいです。和裁ならではの、見たことがないような技が繰り出されていました。家庭科の授業では得られない知識ですね。楽しいのに一流の和裁の指導を受けられることが魅力ですね！」

高橋さん「和裁が初めての人には親しみやすいかもしれません。和裁というと格式高いイメージがあって、決まりも多くて厳しそう……と思う方もいますよね。実際に厳しい先生のお教室もあると思います。でも私は柔軟な発想で、着物の基本は崩さない範囲であれば、アレンジしてもいい、自分らしく着物を楽しんでもらえればいいなと思っているんです。ぜひ気軽にチャレンジしてみてください」



わからないことはすぐに質問。先生が丁寧に指導してくれる



先生の一流の和裁の技術を間近で見て、教えてもらえる

手縫いってどんなもの？ 無料体験会は随時開催中

高橋さん「着物って、糸をほどけばまた反物に戻って、仕立て直しが可能なんです。別のサイズにしたり、着物を羽織にしたり、帯にしたりもできるし、すごく面白いものなんですよ。

私は、以前学外にいたことがあるのでよくわかるのですが、こんなに設備が整った和裁の学校で、このように本格的な講座が受けられるのは、なかなかないと思います。とてもいい環境だと思うので、ぜひ興味ある方は

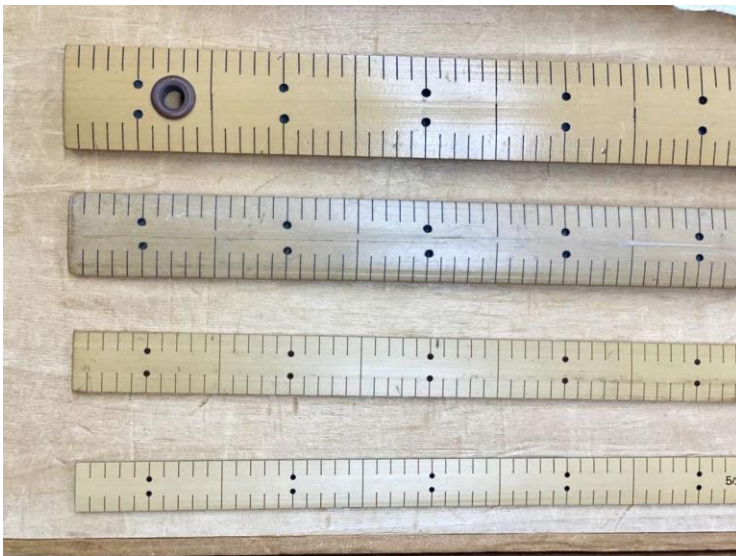
足を運んでみてくださいね。

無料体験会は随時開催しているので、手縫いってどんな感じかなと気になる方はぜひ遊びに来てください。も

ちろん未経験者も歓迎です。一緒に着物を楽しみましょう!!



和裁で使われる道具



物差しは cm ではなく、昔ながらの寸尺